

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【公表番号】特表2008-513513(P2008-513513A)

【公表日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【年通号数】公開・登録公報2008-017

【出願番号】特願2007-532679(P2007-532679)

【国際特許分類】

A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/20	(2006.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	47/22	(2006.01)
A 6 1 K	47/38	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/14	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	5/06	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	47/14	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	47/10	
A 6 1 K	47/20	
A 6 1 K	47/18	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	9/06	
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	47/22	
A 6 1 K	47/38	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	17/14	
A 6 1 P	17/02	
C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 N	5/00	E

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月22日(2008.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織の炎症を抑制するための薬学的組成物であつて、

(a) NF - Bオリゴヌクレオチドデコイ；

(b) 前記デコイが投与される組織における細胞内への前記デコイの送達を促進する、(a)を含むマイクロエマルジョン；

を含み、それによって、前記組織におけるNF - B介在性のプロ炎症性遺伝子の発現を低減し、かつ前記炎症を抑制する薬学組成物。

【請求項2】

ラウレス硫酸ナトリウム、N - ラウロイルサルコシン、ソルビタンモノラウレート20、およびミリスチン酸イソプロピルから選択される浸透促進剤を、約0.3重量%から約10重量%の濃度で含む、請求項1に記載のマイクロエマルジョン組成物。

【請求項3】

テンプレートと同じ配列を有するDNAが、前記テンプレートの50%と置換するのに81モル過剰を必要とする電気泳動移動度シフトアッセイにおいて、前記オリゴヌクレオチドデコイがNF - B p65 / p50ヘテロ二量体に結合している標識化テンプレートの少なくとも50%と置換しており、前記アッセイにおいて用いられる前記テンプレートが配列番号26からなる非修飾二本鎖DNAである、請求項1に記載のマイクロエマルジョン組成物。

【請求項4】

前記デコイがFLANK1 - CORE - FLANK2の式を有するヌクレオチド配列を含み、

COREが、GGACTTTCC(配列番号13)、GGATTTC(配列番号19)、GGATTTCCC(配列番号21)、およびGGACTTTCCC(配列番号25)から選択され；

FLANK1が、AT、TC、CTC、AGTTGA(配列番号79)、およびTTGA(配列番号80)から選択され；かつ

FLANK2が、GT、TC、TGT、AGGC(配列番号88)、およびAGから選択される；

請求項1に記載のマイクロエマルジョン組成物。

【請求項5】

前記デコイが少なくとも約19の特異性/親和性係数を有する、請求項1に記載のマイクロエマルジョン組成物。

【請求項6】

前記デコイが、GGGRNNYYCC(配列番号1)、GGGATTTC(配列番号11)、およびAGTTGAGGACTTTCCAGGC(配列番号30)から選択されるヌクレオチド配列を含む、請求項1に記載のマイクロエマルジョン組成物。

【請求項7】

前記オリゴヌクレオチドデコイが、ホスホロチオエート骨格を有し、かつ前記デコイが投与される組織においてIL-6の発現を少なくとも約50%低下させる、請求項1に記載のマイクロエマルジョン組成物。

【請求項8】

皮膚炎の治療のために皮膚に投与するために、または炎症性腸疾患の治療のために腸に投与するために配合された、請求項1に記載のマイクロエマルジョン組成物。

【請求項 9】

炎症を治療するためのマイクロエマルジョンの調製における N F - B オリゴヌクレオチドデコイの使用であって、前記マイクロエマルジョン中の前記デコイの配合により、前記デコイが投与される組織における細胞内への前記デコイの送達が促進され、それによって、前記組織における N F - B 介在性のプロ炎症性遺伝子の発現を低減し、かつ前記炎症を抑制する、使用。

【請求項 10】

前記デコイが、ヌクレオチド配列 A G T T G A G G A C T T T C C A G G C (配列番号 30) を含む、請求項 9 に記載の使用。

【請求項 11】

炎症を治療するための請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のマイクロエマルジョンの調製における、N F - B オリゴヌクレオチドデコイの使用。

【請求項 12】

前記炎症が皮膚炎または炎症性腸疾患である、請求項 9 または 10 に記載の使用。